

毘沙門のイチョウについて

- 1 概要
- | | |
|-------|--------------------|
| 指定番号 | 第6号 |
| 指定年月日 | 平成21年2月19日 |
| 所在地 | 八戸市田向三丁目1-3（毘沙門公園） |

平成30年2月9日、八戸市都市計画事業田向土地区画整理事業の換地処分公告がなされたことから、毘沙門公園の公園施設として八戸市へ管理引継となり、平成30年度から八戸市の管理となった。

2 経過

平成17年度	現在地へ移植
平成28年度 (ナラタケ菌 対策1年目)	樹勢衰退の根本的な原因はナラタケ菌による腐朽であることが判明。 ・ナラタケ病の治療及び土壌改良等の養生管理を実施。 ・樹木医による公開樹木診断（4/22）
平成29年度 (ナラタケ菌 対策2年目)	・ナラタケ病の治療及び土壌改良等の養生管理を実施。 ・ワイヤー支柱補強作業を実施（8本増、計12本） ・樹木医による公開樹木診断（9/15）
平成30年度 (ナラタケ菌 対策3年目)	前年度と同様にナラタケ病の治療及び土壌改良等の養生管理を実施。 ・ナラタケ菌糸除去及び土壌殺菌 ・不定根発根促進誘導工 ・灌水施工 ・樹木医による公開樹木診断（9/27）
令和元年度 (ナラタケ菌 対策4年目)	前年度と同様にナラタケ病の治療及び土壌改良等の養生管理を実施。 ・ナラタケ病菌糸拡大防止殺菌工 ・樹勢回復及び土壌改良工 ・灌水施工 ・樹木医による公開樹木診断（9/20）
令和2年度 (ナラタケ菌 対策5年目)	前年度と同様にナラタケ病の治療及び土壌改良等の養生管理を実施。 ・ナラタケ病菌糸拡大防止殺菌工 ・樹勢回復及び土壌改良工 ・灌水施工 ・樹木医による公開樹木診断（9/23）
令和3年度 (ナラタケ菌 対策6年目)	前年度と同様にナラタケ病の治療及び土壌改良等の養生管理を実施。 ・ナラタケ病菌糸拡大防止殺菌工 ・樹勢回復及び土壌改良工 ・灌水施工 ・樹木医による公開樹木診断（10/25）

3 状況

- ・幹の中央にある後継樹の根が順調に発育しており、その周りにある本体根も順調に発育し分布域を広げている。
- ・北東側には、新芽・新梢が確認できた。
- ・ただし、南側から西側にかけては、新しい根は確認されなかった。
- ・南側大枝の樹皮が落下しており、腐朽が進み危険であるため、大枝・枯死した枝を剪定除去した。
- ・今年度は治療を4回行い、前年より2か月早くナラタケ菌が活動し始める前に治療を開始できたことで、効果的に薬剤を散布することが出来た。

4 今後の養生管理について

引き続きナラタケ病の治療及び土壌改良等の養生管理を行い、来年度は除草の回数を増やすこととし、必要経費を当初予算で要求。

H21.7 撮影 (南側)



R2.9.23 撮影 (南側)



R3.10.25 撮影

(南側)



(北西側)



(北東側)

